



横浜市立桂小学校

桂小だより

KATSURA NEWS LETTER

9月号

令和8年8月31日

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsura/>

学校についての詳細や学校生活についてはHPをご覧ください。

E-mail: y3katura@edu.city.yokohama.jp 桂小学校HPのQRコードはこちら→



自分で考え、仲間と創る学びを目指して

校長 田島 馨

まだまだ厳しい暑さが続いていますが、27日、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。子どもたちはこの夏、家庭での手伝いや家族との旅行、地域行事への参加、興味をもったことを追究した自由研究など、普段の学校生活ではできない「本物の体験」を重ねてきたことでしょう。体験を通して一回りたくましく成長した子どもたちの姿に触れられることを、大変うれしく思っております。

一方、長期休業明けは、学校生活への復帰に不安やプレッシャーを感じやすい時期でもあります。「悩みや不安を一人で抱え込まずに」「焦らず、自分のペースで」学校生活を取り戻していけるよう、教職員一同、寄り添ってまいります。御家庭におかれましても、お子さんの様子を見守り、温かい言葉をかけていただければ幸いです。

さて、登校してきた子どもたちは、校舎の中の小さな変化に気付いてくれたでしょうか。この夏休みの厳しい暑さの中、2人の用務員さんが力を合わせ、昇降口付近や階段に丁寧にワックスがけをしてくださいました。ぴかぴかに磨き上げられた床には、「夏休み明け、子どもたちに気持ちよく過ごしてほしい」という温かい思いが込められています。安全で美しい環境の中で生活することへの感謝の気持ちを、子どもたちと共に大切にしていきたいと思ひます。

子どもたちがそれぞれの夏を過ごす中、私たち教職員も学びを重ねてまいりました。この夏、横浜市内すべての小・中・高校・特別支援学校の先生方が一堂に会し、これからの時代に向けた教育の在り方について研修を行いました。

研修では、「総則」部会において、次期学習指導要領の動向を見据えた「子ども主体の学び」、人権尊重を基盤としたインクルーシブ教育など、全般的な考え方を深めました。また「各教科・領域」部会では、教科の特性に即した具体的な授業づくりについて活発な議論が交わされました。

本校では授業開始前日の26日に、それらの研修の学びを持ち寄り、今後の教育活動にどのように生かしていくかを具体的に話し合いました。急速に社会が変化し生成AIなどの技術が進展する今、単に完成された知識を身に付けるだけでなく、自ら問いをもち、自律的に考え行動する「主体性」を育むことが何より求められています。本校におきましても、友達との対話を通じた学び合いを通して、主体性を伸ばす取組を推進してまいります。日々の授業においては、子どもたちが興味・関心をもって探究し、選択や決定をしながら深め合える授業デザインを追求します。さらに、運動会や縦割り遠足、校外学習といった様々な体験や行事の機会を最大限に生かし、子どもたちの力を伸ばしていきます。仲間と協力して目標に向かって試行錯誤したり、実体験を通して新しい発見をしたりするプロセスこそが、子どもたちの内側から主体性を立ち上げる糧となります。多様な友達と関わり、互いの良さを認め合いながら共に学ぶ喜びを味わえるよう、学校全体で取り組んでまいります。今後とも、御理解・御協力をよろしくお願いいたします。